

第4分科会

自立支援協議会はたらく部会に おける企業開拓 ～関係機関との連携による取組を通じて～

- 野村 聡（柏市障害福祉課）
- 八木原 直彦（障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏）
- 久保 千穂子（LITALICOワークス柏西口）

はじめに

■本発表の趣旨

・千葉県柏市では、自立支援協議会はたらく部会一般就労連絡会（以下、「一般就労連絡会」という。）において、障害者雇用に関する企業向け相談会キックオフミーティング（以下、「キックオフミーティング」という。）を令和4年度から開催し、一定の成果を挙げている。

・今回の発表では、キックオフミーティングの取組に関する成果及び課題等について、取組の中心を担ってきたメンバーから地域における支援ネットワークを活用した企業開拓について、発表することとしたい。

柏市の紹介



- ・千葉県の北西部に位置する中核市
- ・今年(令和6年)は市制施行70周年
- ・人口 436,034人 (R6.9.1現在)
- ・都内まで30分程度かかり、公共交通機関が苦手な障害者にとっては、通勤が大きなハードル！

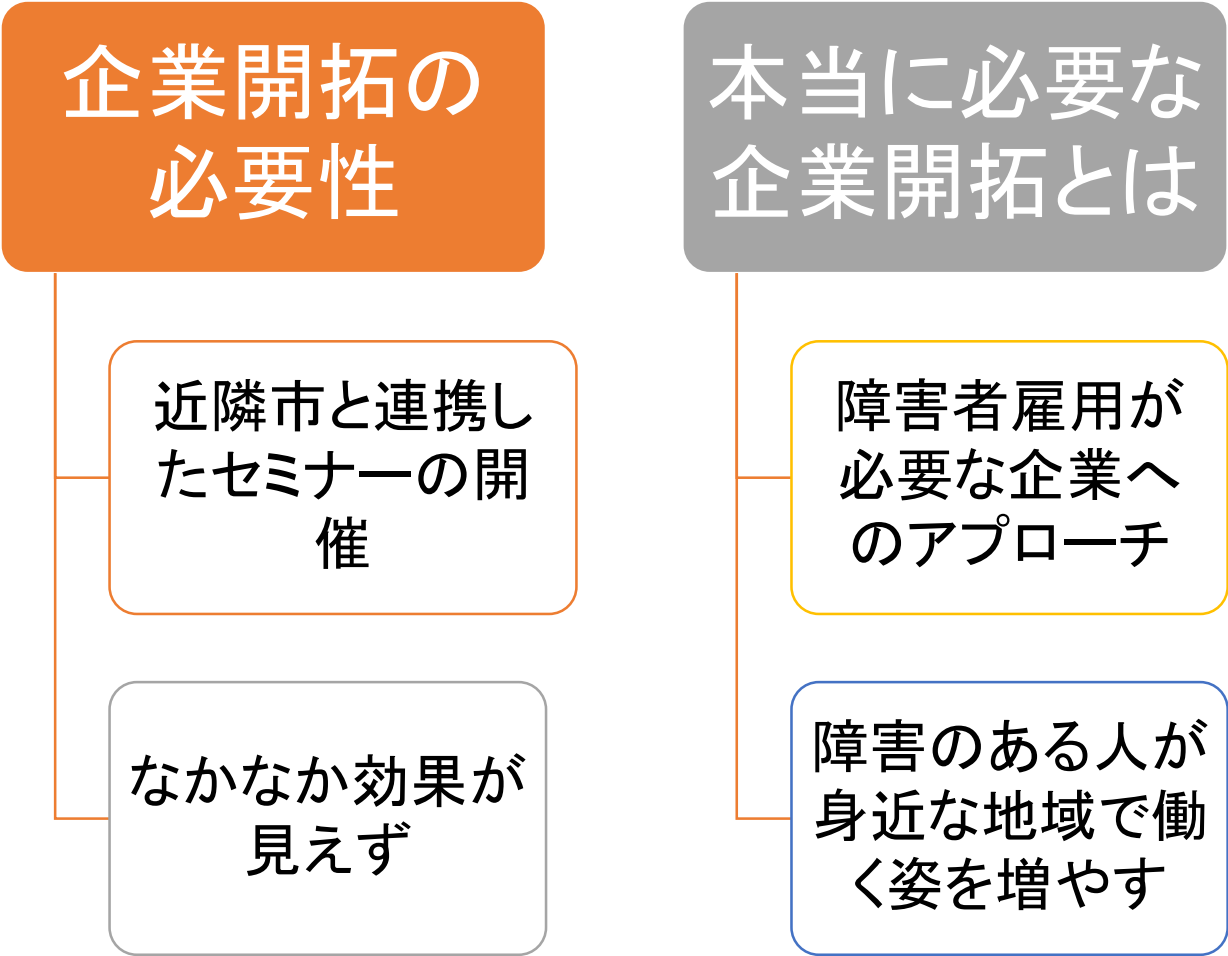
出典: 令和6年10月16日(水) 千葉県HP city-l2017.png (824 × 1038)
(chiba.lg.jp)



柏市における障害者雇用・就労支援

企 業	就労支援
・大企業よりも中小企業が多い。 ・経済団体から、人手不足を懸念する声がある。 ・障害者雇用に熱心な企業と、そうではない企業に分かれる傾向があり、障害者雇用に興味・関心のない企業への働き掛けが課題。	・障害者就業・生活支援センターを中心とした就労支援ネットワークが構築されており、市内の就労移行支援事業所や精神科医療機関等を含め、関係性は良好。 ・全国的な傾向と同様、精神障害者の就労が増加。市内の就労定着支援事業所の就労定着率は80%後半であり、支援の質が高い。

なぜ、キックオフミーティングを始めたのか？



企業と共に踏み出す障害者雇用を目指す意味で、イベント名を「キックオフミーティング」とした。

キックオフミーティングの開催

■ポイントは3つ

主な対象企業を 明確に

- 主な対象は、障害者雇用ゼロ企業に設定。
- とはいえ、正直、どこまでできるかは不安なところ...

どのようにアプ ローチするか

- そもそも、企業は障害者雇用に関心なし。参加への働きかけは結構、厳しそう...
- 企業ごとにニーズが違うため、個別にアプローチすることへ

HW等との連携

- 本市からHWへ後援依頼。関係者全員がwin-winになること
- HWの他に商工会議所にも協力を依頼

これまでの実績

	参加企業数	求人実績	就職者数
令和4年度	9社	5名	9名
令和5年度	11社	2名	1名

- ✓ 令和4年度における参加企業目標数の10社は、
わずかに届かず・・・。
- ✓ 令和5年度の就職者は、先日決定！相談から就職
まで1年近くかかることが多い。

令和5年度の取組

KGI,KPIの 設定

- 令和6年3月末までに参加企業へ2名入社
- 参加企業11社

職員の育成・ スキルアップ

- 企業への事前訪問
- 企業への提案内容及び資料作成に関する検討

提案内容についてメンバー間で検討を重ねながら提案資料を作成するプロセス

👉 好事例の共有や求人開拓における職員のスキルアップ及び人材育成に寄与。

成果と課題

成果

HW等の関係機関との連携による企業開拓

障害者が身近な地域での就労を実現

課題

就労支援機関の人材不足

本取組の運営に関する検討

まとめ

■企業開拓の重要性

- ・事業所の垣根を超え，地域課題の実現に向けて共に協力し，地域全体で障害者雇用を推進できること
- ・上記を実施するためには，役割を分担しながら，関係者全員がwin-winの関係になることが重要
- ・あわせて，地域の課題を自立支援協議会等で共有することも大切！
- ・今後も企業のニーズを見極めつつ，関係機関と協力しながら，障害者と企業双方にとって有益となる取組を実施したい